

子どもたちはムードメーカー！
そこにいるだけで、みんな笑顔に！
一方で「ダンス中、子どもに目を配るのは難しい」
といった課題をどうクリアするか
考えていく必要もありました。



5人組のグループワーク発表では、
大学生から「ベースを合わせよう！」
という声掛けも。

障害者をもとにする
「ゆめチーム」はそれぞれの
夢を紙に描きました。

あなたの夢はなに？



公演タイトル「トワミライ」は、
未来につなげていくイメージ！



ゆめ むすかとい

「ゆめ、むすかしい」

夢は何かを聞かれた参加者の
真っすぐなメッセージが、
一同、感慨深くうなずきました。



寄り添いすぎないで

子どもや障害者を気遣う学生に
「善意であっても、配慮しすぎているように見えます」
と森田さんが指摘。
*対等*であることの難しさを感じました。

森田さんから
「心のまま踊っているように見えます。
子どものパワーもすごいですが、
大人のパワーも負けていません」
と励ましの言葉が。



まだ振りを感じていない人は、自信のない動きに。



「ダンスが好き！」

ポジティブな気持ちで、
ここに集結！

本番前夜のリハーサル。
最後までみんな頑張りました。



稲古も大詰め！

オープニングから進んで踊った稲古は
4時間に及びました。

